

令和2年度 事業報告書

社会福祉法人 淑徳福社会

特別養護老人ホーム淑徳共生苑
淑徳共生苑短期入所生活介護事業所
淑徳共生苑通所介護事業所
淑徳共生苑認知証対応型通所介護事業所
淑徳共生苑居宅介護支援事業所
淑徳おゆみ診療所
千葉市あんしんケアセンター松ヶ丘

目 次

1.	総括	1
2.	役員会開催報告	2
3.	職員配置・入退職状況	3
4.	施設内・外研修参加報告	4
5.	実習・施設見学実施報告	5
6.	年間行事及び地域交流報告	6
7.	各事業別報告	
	7-1. 特別養護老人ホーム	7
	7-2. 短期入所生活介護事業所	14
	7-3. 通所介護事業所・認知症対応型通所介護事業所	15
	7-4. 居宅介護支援事業所	17
	7-5. 淑徳おゆみ診療所	18
	7-6. 千葉市あんしんケアセンター松ヶ丘	19
	7-7. 千葉市生活支援コーディネーター	21

1. 総括

新型コロナウイルス感染症予防の観点からほとんどの行事及び諸活動も未実施となっており、事業内容もままならない状況でこれまでとは大きく異なる一年でした。

特に、1月に一部のユニット職員の新型コロナウイルス感染症陽性が確認され、2月にかけて総数9名（入所者6名と職員3名）の集団感染が発生してしまいました。その間は、感染対策を最優先に在宅サービス（通所と短期入所）事業を休止し、職員間の調整で応援体制を図り感染終息に向け危機管理に努めました。その後は感染者も出ていませんが、現在も予防対策を継続しております。

このような影響で在宅サービスの休止により事業収益は大きく減収、緊急事態に対処すべく臨時的な職員配置の対処などでの経費増もあり、開苑以来の赤字決算となってしまう厳しい結果となっています。人材定着及び確保については概ね改善され運営体制も整い、職場環境及び待遇改善に向けた具体的な見直しも進み一定の成果に結びつきました。引き続き感染予防対策を徹底し、事業活動の目標値を明確にした安定した事業運営と収益の改善に取り組むことが急務です。

施設長 林 房吉

2. 役員会開催報告

理事会開催報告

回	期日	出席理事	出席監事	報告事項及び議案
第1回	6月2日	6名	2名	第1号議案 令和元年度事業報告、決算報告について 第2号議案 第一次補正予算（案）について 第3号議案 定時評議員会について 第4号議案 奨学金返済支援制度規程の制定について 第5号議案 給与規程の改定について 第6号議案 経理規程の改定について 第7号議案 評議員選任・解任委員会の委員選出について
第2回	9月23日	6名	2名	第1号議案 令和2年度第二次補正予算（案）について 第2号議案 奨学金返済支援制度規程の一部改正について
第3回	12月2日	6名	2名	第1号議案 令和2年度第三次補正予算（案）について
第4回	3月11日	6名	2名	第1号議案 令和2年度第四次補正予算（案）について 第2号議案 令和3年度事業計画について 第3号議案 令和3年度当初予算について 第4号議案 就業規則の一部改正について 第5号議案 永年勤続表彰（案）について 第1号報告 業務執行状況について 第2号報告 会計執行状況について 第3号報告 事業執行状況について 第4号報告 淑徳共生苑・おゆみ診療所の現況について 第5号報告 淑徳共生苑だより第52号について

評議員会開催報告

回	期日	出席評議員	出席監事	報告事項及び議案
第1回	6月18日	6名	2名	第1号議案 令和元年度事業報告、決算報告について

3. 職員配置・入退職状況

(令和3年4月1日現在)

特養（短期入所含む）定員 90 名（短期 10 名）

職種	配置基準	実配置数	うち非常勤
施設長（兼務）	1	1	-
生活相談員	2	3	-
看護師（兼務）	3	5	2
介護職員	34	44	7
管理栄養士	1	1	-
介護支援専門員	1	1	-
医師	1	1	-
機能訓練指導員	1	1	-
事務長	-	1	-
事務員・庶務員	-	3	1
宿直員	-	2	2
計	44	63	12

通所（認知症対応型含む）定員 26 名

職種	配置基準	実配置数	うち非常勤
管理者（兼務）	2	(2)	-
生活相談員（兼務）	2	3	-
看護師（兼務）	1	1 (1)	1
介護職員（兼務）	4	12 (2)	5
運転手	-	1	1
計	9	17	7

居宅介護支援事業所

職種	配置基準	実配置数	うち非常勤
管理者（兼務）	1	(1)	-
主任介護支援専門員	-	1	-
介護支援専門員	1	2	-
計	2	3	0

淑徳おゆみ診療所

職種	配置基準	実配置数	うち非常勤
医師	1	2	1
看護師	-	2	2
事務員	-	2	1
放射線技師	-	1	1
薬剤師	-	2	2
計	1	9	7

あんしんケアセンター松ヶ丘（白旗含む）

職種	配置基準	実配置数	うち非常勤
管理者/所長（兼務）	1	(2)	-
保健師・看護師	3	2	-
主任介護支援専門員	3	3	-
社会福祉士	3	5	-
事務員	2	2	2
生活支援コーディネーター	1	1	-
介護支援専門員	-	1 (1)	(1)
計	13	14	2

職員入退職状況（令和2年度中）

職種	入職	有期⇔無期、 正規雇用	退職
正規雇用職員	10	0	4
無期契約職員	0	2	0
有期契約職員	9	0	2
計	19	2	6

4. 施設内・施設外研修参加報告

内部研修

月	日付、内容、参加人数		
12月	8日	救命救急講習会	11名
	22日	身体拘束廃止・虐待防止研修	9名
	25日	喀痰吸引研修	6名
3月	9日	食中毒・感染症予防対策研修	7名
	16日	認知症について	7名
	23日	事故防止対策研修	6名
	29日	令和3年度採用予定 新任職員研修	5名
	30日	プライバシー保護について	7名
			計 58名

外部研修

月	日付、内容、参加人数		
7月	3日	BCP（事業継続計画）研修	1名
	11日	安全運転管理者講習会	1名
8月	27日	認知症コーディネーター研修会	1名
	28日	地域支援推進員研修会	1名
	31日	事務職員研修（労働関係法・働き方改革関連法の詳細）	1名
9月	5日	千葉県認知症キャラバン・メイト養成研修	2名
	6・13日	介護技術講習	1名
	7日～	介護職員実務者研修 9/7～11/18（15日間）	1名
	15日	中小企業向け障害者雇用セミナー	1名
	18日	認知症介護基礎研修会	3名
	24日	高齢者権利擁護身体拘束廃止研修 新任職員研修	1名
28・29日	介護認定調査委員研修	1名	
10月	2日	雇用管理責任者講習	1名
	6日	千葉県災害支援（DWAT）研修	2名
	10日	千葉県外国人介護人材セミナー	1名
	14日	高次脳機能障害地域支援者向け連続講座 10/14、12/16	1名
	21日	地域ケア会議に係る市町村研修会	1名
11月	4日	在宅医療介護連携に係るリモート研修会	1名
	4～6日	千葉県高齢者権利擁護・身体拘束廃止研修 専門実践研修	1名
	11日	千葉県高齢者虐待防止研修（管理職及び新任職員）	3名
	16日	千葉県社協「ケアマネジャー事例検討研修会」	1名
	20日	処遇改善活用例セミナー	1名
	29日	日本介護支援専門員協会南関東ブロック研修会	3名

	30日	意思決定ガイドライン基礎研修	2名
12月	1日	介護職員処遇改善加算特定処遇官全加算の研修会	1名
	1日	雇用管理責任者研修	1名
	8日	地域包括支援センター職員現任研修	1名
	11日	千葉市地域ケア会議研修	1名
	12日	千葉市介護予防ケアマネジメントに係る研修	2名
	14日	アルコール依存症の理解と本人、家族支援研修会	1名
	18日	千葉市認知症介護基礎研修	2名
1月	5日	介護予防に資する通いの場に係る市町村研修会	1名
	19日	平成30年度入国介護福祉士候補者対象集合研修	1名
2月	9日	介護予防担当者研修会	1名
	10日	千葉市ケアマネジャーオンライン研修	5名
	12日	介護報酬改定と対応策・業務効率化と介護ロボットセミナー	1名
	17日	介護予防・日常生活支援総合事業に係る市町村研修	1名
	18日	千葉市認知症介護基礎研修	1名
	19日	認知症地域支援推進員研修会	1名
	20日	千葉県介護支援専門員協議会第94回研修会	1名
	21日	本人の意向を尊重した意思決定の為の研修会	1名
3月	15日	第2回地域緩和ケア研修会	1名
	18日～	ユニットリーダー研修	1名
	22日	千葉市高齢者虐待対応研修	1名
			延べ59名

5. 実習・見学実施報告

月	日程	学校・学部名等	内容	人数
8月	3日～22日	総合福祉	相談援助実習（導入実習）前年度対象者	60名
	3日～9月18日	総合福祉	相談援助（地域包括）実習（3年生）	4名
	31日～9月18日	総合福祉	相談援助（施設現場）実習（3年生）	9名
9月	17日	帝京平成大学	看護学科 老年看護学臨地実習	26名
10月	5～11月14日	総合福祉	相談援助実習（導入実習）11グループ	計196名
11月	23～27日（5日間）	日本女子体育大学	教員資格取得のための介護等体験	1名
12月	1～14日（10日間）	市原特別支援学校	千葉県障害者委託訓練	1名
	9～22日	総合福祉	相談援助実習（基礎実習）2グループ	計35名
1月	18～22日	総合福祉	相談援助実習（基礎実習）1グループ	計20名
3月	8～26日	総合福祉	相談援助実習（基礎実習）3グループ	計48名
				計400名

6. 年間行事及び地域交流報告

月	日付	場所	行事	内容
5月	8日	月影堂	降誕会	お釈迦様の誕生を祝う宗教行事
6月	27日	苑内	家族会役員会	会計監査・今後の活動について
7月	7日迄 22日	苑内 苑内	七夕 消防訓練	竹を用意し、苑内に短冊を設置 定期の夜間想定訓練を実施
8月	3日	月影堂	盂蘭盆会	宗教行事
9月	15日 30日	苑内 行政	敬老会 千葉県「働き方改革」推進事業 アドバイザー派遣事業	敬老のお祝い 職場内での働き方改革への取組
10月	21日	苑内	消防訓練	定期の避難訓練等
12月	5日 16日 18日 24日	地域 苑内 月影堂 地域	淑徳大学社会福祉研究セミナー 給食委託業者ポロプーザル 成道会 千葉県福祉教育部会加盟校	オンラインセミナーでの講演 次年度給食委託業者選定 お釈迦様のお悟りを祝う宗教行事 福祉教育部会開催 おゆみホール
2月	2日	地域	大巖寺節分	地域の節分行事

※ 新型コロナウイルス感染症の関係でこれまで定例的に実施していた活動及びボランティアなどすべて休止にさせていただきました。

7. 各事業別報告

7-1. 特別養護老人ホーム

年間稼働率

月	延べ人数						稼働率
	介護度 1	介護度 2	介護度 3	介護度 4	介護度 5	合計	
4月	30	150	685	855	900	2,620	97.0%
5月	31	155	713	819	939	2,657	95.2%
6月	30	150	664	768	914	2,526	93.6%
7月	31	153	634	827	992	2,637	94.5%
8月	31	124	620	838	989	2,602	93.3%
9月	30	120	566	783	1,066	2,565	95.0%
10月	31	97	558	821	1,114	2,621	93.9%
11月	30	90	510	845	1,118	2,593	96.0%
12月	31	93	527	973	1,147	2,771	99.3%
1月	31	93	496	963	1,145	2,728	97.8%
2月	28	84	448	831	991	2,553	101.3%
3月	31	90	496	930	1,087	2,634	94.4%
合計	365	1,399	6,917	10,253	12,402	31,507	95.9%

性別・要介護度別入居者数 (月末時点)

月	介護度 1		介護度 2		介護度 3		介護度 4		介護度 5		合計	平均 介護度
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
4月	0	1	1	4	6	17	4	25	4	26	88	3.9
5月	0	1	1	4	6	17	4	23	4	27	87	3.9
6月	0	1	1	4	6	17	5	22	5	26	87	3.9
7月	0	1	1	4	5	15	6	21	5	28	86	4.0
8月	0	1	1	3	5	15	6	22	5	29	87	4.0
9月	0	1	1	3	5	14	6	23	5	31	89	4.1
10月	0	1	1	2	4	14	5	23	5	32	87	4.1
11月	0	1	1	2	4	13	5	24	6	33	89	4.2
12月	0	1	1	2	4	12	5	28	6	31	90	4.1
1月	0	1	1	2	4	12	4	28	6	31	89	4.1
2月	0	1	1	2	4	12	4	28	6	31	89	4.1
3月	0	1	0	2	4	12	4	27	7	31	88	4.2

年齢・性別構成 (3月末時点)

年齢	男性	女性	計
60～69歳	0	1	1
70～79歳	1	3	4
80～89歳	4	29	33
90～99歳	6	35	41
100歳～	1	4	5
合計	12	72	84
平均年齢	91.2	90.1	90.2

入所者数

入所前の居場所	人数
在宅より	6
施設より	6
病院より	8
合計	20

退所者数

退所理由	人数
死亡（施設内/看取り）	12
死亡（施設内）	5
死亡（入院中）	2
入院により医療機関へ	4
合計	23

在苑期間（3月末時点）

期間	男性	女性	計
～5年未満	9	52	61
5年以上～10年未満	2	17	19
10年以上～	1	3	4
計	12	72	84

地域状況（3月末時点）

県内/県外	保険者	男	女	計
県内	千葉市中央区	7	44	51
	千葉市若葉区	2	3	5
	千葉市緑区	1	7	8
	千葉市美浜区	0	3	3
	館山市	0	1	1
	習志野市	0	1	1
	市原市	1	5	6
	勝浦市	0	1	1
	市川市	0	1	1
	船橋市	0	1	1
	八千代市	0	1	1
県外	東京都	0	3	3
	ふじみ野市	1	0	1
	筑西市	0	1	1
計		12	72	84

利用料負担階層 (3月末時点)

負担段階	人数	うち2割負担	うち3割負担
1段階	0	-	-
2段階	11	-	-
3段階	29	-	-
4段階	44	6	2
計	84	6	2

月例別入院状況

月	人数	日数
4月	0	0
5月	2	1
6月	0	0
7月	1	4
8月	1	8
9月	3	20
10月	0	0
11月	2	27
12月	0	0
1月	4	21
2月	5	108
3月	2	22
合計	20	211
平均	1.6	17.6

日常生活自立度 (3月末時点)

自立度	人数
I	3
IIa	5
IIb	19
IIIa	2
IIIb	26
IV	11
M	3
計	84

オムツ使用者の実人数 (3月末時点)

-	人数
日中におけるオムツの使用者	74
夜間におけるオムツの使用者	75

医療的ケアの必要な人数 (3月末時点)

種類	人数
喀痰吸引 (口腔)	5
経管栄養 (胃ろうのみ)	5
ペースメーカー	1
膀胱瘻	1
計	12

施設相談員報告

- ・ 特養の入居に関しては、在宅サービス（苑内、他事業所も含め）と連携を図り、入居前の生活習慣を可能な限り継続していけるよう、一人ひとりの生活を尊重したケアを入居後も行うようにした。
- ・ 各委員会の担当や役割を各職員に振り分け、ケア内容の統一や生活スペースの整理整頓などの環境整備にも努めた。
- ・ 昨年度から満床にならない現状が、長い期間続いたが、令和2年度は医師にも入所検討委員会に出席して頂き、医療面のサポートも含め、協力を頂き満床の時期や退所後のスムーズな次期入居へとつなげる事ができた。
- ・ 施設内での生活の質を高めるため、訪問歯科との連携を図った。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、各行事、ボランティアの受け入れに関しては全体行事の延期や中止、ボランティア活動も受け入れ中止となった。
- ・ 令和3年1月に特養1ユニットで新型コロナウイルス感染症が発生し、1月下旬から2月末まで各事業を休止し、感染拡大の防止に苑全体で対応を図った。職員は順次職場復帰をしたが、罹患したご入居者様は、長期入院による退所、医療的療養のため、他施設へ入所となってしまうケースが発生した。
- ・ 最後に次年度は引き続き苑全体で感染症対策の徹底を図りながら、各事業の安定した稼働ができるようにしていく。

施設看護報告

- ・ 施設医療において、健康に生活できるレベルを保つ事、疾患に対して少しでも苦痛を取り除く事を最優先に考え医師との連携に努めた。
- ・ 健康診断において、健康状態の把握、異常の早期発見に努める事ができている。
- ・ 肺炎や熱の受診が上位を占めているが、内服中心の治療、また、疾患の程度によっては、診療所での点滴治療が可能であり、内服と点滴治療でほとんどが回復されている。（全体としては入院者の人数も減少している。）
- ・ 他職種との情報連携を円滑に行い、必要とされる医療・看護を提供する事ができた。（食事・排泄・睡眠・看取り等）
- ・ 口腔予防衛生の取り組みとして訪問歯科との情報を共有している。訪問歯科

は、5月から開始した。2月は新型コロナウイルス感染症のため休診とした。

(感染症対策委員会活動)

4月

- ・ 感染症対策強化（非常事態宣言）
- ・ 面会・レク・ボランティア・研修会等の制限
- ・ 吸引器の管理・消毒のお願い（ユニット・ディサービス）

5月

- ・ 感染症対策
- ・ 熱中症予防に関して放熱の工夫、負荷を考えての行動等注意を呼びかけ

6月

- ・ 感染症対策
- ・ 熱中症予防に関する提言
- ・ 食中毒について（予防3原則）

7月

- ・ 感染症対策 1 処置 1 手洗いの徹底
- ・ 窓越し面会（おゆみホール前）
- ・ 熱中症対策

8月

- ・ 感染症対策
- ・ アクリル板越し面会（月桂樹）

9月

- ・ 感染症対策強化（見直し・改善）

10月

- ・ 感染症対策
- ・ 面会・レク・ボランティア等、来年3月までは現状維持
- ・ インフルエンザ感染症予防対策

11月～12月

- ・ 感染症対策強化
- ・ 健康観察

- ・ 受診時の流れ
- ・ 薬剤耐性菌について
- ・ 各所アクリル板設置

1月

- ・ 感染症対策強化（緊急事態宣言発令）
- ・ 各所アクリル板設置
- ・ 職員は不織布素材のマスク使用とする

2月

- ・ 感染症対策強化。
- ・ 靴裏の消毒マット（玄関前・各ユニット前）導入
- ・ 体調管理と体調不良時の連絡徹底
- ・ ガウンテクニック伝達を定期的に行う

3月

- ・ 感染症対策強化
- ・ 携帯用手指消毒は自己管理とする
- ・ 消毒用足ふきは新型コロナウイルスワクチン接種後まで続ける
- ・ 苑における新型コロナウイルス感染症対応を動画にて振り返る

淑徳おゆみ診療所受診状況

受診内容	延べ人数
整形（打撲・骨折）骨粗鬆症関係	87
肺疾患関係・熱など	82
泌尿器・バルン関係	46
糖尿・消化器・栄養関係	103
循環器関係	10
頭痛・脳疾患関係	3
処置・皮膚疾患	84
計	415

訪問歯科受診状況

月	診療回数	受診数 (延べ)
4月	0回	0
5月	1回	3
6月	9回	72
7月	8回	67
8月	7回	54
9月	6回	53
10月	6回	56
11月	7回	51
12月	8回	69
1月	4回	40
2月	0回	0
3月	3回	31
計	59回	496

他医療機関受診状況

診療科	受診数 (延べ)
内科	9
神経内科・精神科	9
眼科	11
癌関係	0
皮膚科	20
ペースメーカー管理	2
耳鼻科	8
整形外科	17
胃瘻	5
泌尿器科	1
脳外科・外科	0
循環器	6
計	88

7-2. 短期入所者生活介護事業所（ショートステイ）

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症が流行し緊急事態宣言が発令された中で、事業運営となった。ご利用者様によっては新型コロナウイルス感染症への心配により利用を中止する方もいる状況であった。在宅のケアマネージャーや多職種との連携に関しても、会議が行えない・訪問ができないなど制限の中で感染症予防対策をしっかりと行い、ご利用者様やご家族様が安心して利用できるように努めた。

ご利用者様の受け入れに関して、発熱した場合など通常より慎重に対応をし、自宅での検温・苑到着時での検温など体調管理を徹底した。環境面では、生活スペースにアクリル板の設置やテーブル席配置の変更等を行い、小規模であるがレクリエーションや施設内の散歩など個別に実施することで、ご利用者様・ご家族様が喜ばれる姿を見ることができた。

新型コロナウイルス感染症が流行している中で、月ごとに稼働率にも影響が生じ、さらに特養で新型コロナウイルス感染症陽性者の発生により、2カ月近く営業を中止したこともあり、年間平均の稼働率としては大きな減少となってしまった。

来年度は、引き続き感染症予防対策を徹底していく中で、安定した運営ができるように取り組んでいきたい。

年間稼働率

月	延べ人数								稼働率
	要支援1	要支援2	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	合計	
4月	0	0	26	43	49	27	4	149	49.7%
5月	0	0	34	59	58	29	4	184	59.4%
6月	0	3	29	68	72	31	6	209	69.7%
7月	0	0	38	73	48	61	8	228	73.5%
8月	0	0	44	75	31	65	20	235	75.8%
9月	0	4	27	90	34	64	17	236	78.7%
10月	0	0	34	77	38	44	24	217	70.0%
11月	0	0	20	96	44	49	28	237	79.0%
12月	0	0	28	59	37	54	57	235	75.8%
1月	0	0	15	14	30	35	49	143	46.1%
2月	0	0	0	0	27	0	27	54	19.3%
3月	0	0	8	13	55	5	56	137	44.2%
計	0	7	303	667	523	464	300	2,264	61.8%

7-3. 通所介護・認知症対応型通所介護事業所（デイサービス）

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の流行により、様々な制約を受けながらの事業運営となった。そのような中、ご利用者様にはできるだけ楽しんで頂けるよう、日々のプログラムの見直し・改良を実施した。また、使われていなかった畑で夏野菜やサツマイモ、草花の栽培といった活動に取り組んだ。

感染防止の観点では、アクリル板を導入、1日の利用定員数の削減、消毒の回数・範囲拡大、デイルームや送迎車の定期的な換気の実施等、感染対策の強化・徹底を行った。また、ご利用者様・ご家族様のご理解やご協力もあり、感染者の発生もなく営業をすることができた。

しかし1月から特養で新型コロナウイルス感染症が発生し、応援のため、急遽両事業所の営業を1月22日～3月7日まで停止することになった。ご利用者様等関係者の皆様にご迷惑をおかけしただけでなく、ご利用者様が他事業所に移られたり、営業を止めた事で収益を上げる事ができなくなってしまった。

来年度は引き続き感染症対策を継続するのは勿論だが、安定した営業を続ける事・ご利用者様の獲得を目標に事業を継続したい。

一般型デイサービス稼働率（10月より定員25→20人へ変更）

月	延べ人数						稼働率
	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	合計	
4月	100	143	66	51	0	360	57.6%
5月	116	136	73	52	0	377	55.9%
6月	138	158	41	51	0	388	59.7%
7月	146	175	37	52	0	410	63.1%
8月	133	179	38	49	0	399	59.1%
9月	158	166	36	35	0	395	63.2%
10月	176	187	39	27	0	429	79.4%
11月	160	176	31	30	0	397	76.3%
12月	144	155	34	33	0	366	73.2%
1月	80	95	41	17	0	233	48.5%
2月	0	0	0	0	0	0	0.0%
3月	64	117	58	11	0	250	48.1%
計	1415	1687	494	408	0	4,004	57.0%

認知症対応型デイサービス稼働率（10月より定員10→6人へ変更）

月	延べ人数						稼働率
	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	合計	
4月	0	15	21	51	29	116	46.4%
5月	0	19	15	40	21	95	35.2%
6月	0	19	14	59	8	100	38.5%
7月	0	14	28	64	15	121	46.5%
8月	0	12	20	64	22	118	43.7%
9月	0	0	21	70	22	113	45.2%
10月	0	0	31	75	23	129	79.6%
11月	0	0	33	69	18	120	76.9%
12月	0	0	29	66	18	113	75.3%
1月	0	0	21	44	12	77	53.5%
2月	0	0	0	0	0	0	0.0%
3月	0	0	8	30	5	43	27.6%
計	0	79	241	632	193	1,145	47.4%

7-4. 居宅介護支援事業所

昨年に引き続き、特定事業所加算Ⅲを算定。

新型コロナウイルス感染症の影響で、認定調査や研修参加は減少しているが、できる限り実施した。

実績

月	職員数	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	3	2	8	35	8	12	5	3	73
5月	3	2	8	38	8	13	5	2	76
6月	3	2	8	38	8	11	6	1	74
7月	3	2	8	40	8	10	7	2	77
8月	3	2	8	41	7	8	8	2	76
9月	3	2	8	42	8	9	7	2	78
10月	3	4	9	47	8	10	5	3	86
11月	3	4	9	47	9	9	5	4	87
12月	3	5	9	50	12	7	6	4	93
1月	3	5	9	45	11	6	6	4	86
2月	3	6	8	44	15	7	5	4	89
3月	3	6	8	42	15	8	6	3	88
月平均									81

登録者状況（3月末時点）

登録者数

性別	予防給付	介護給付	計
男性	7	24	31
女性	8	53	61
計	15	67	92

登録者世帯状況

世帯	人数
独居	23
夫婦	29
子ども世帯同居	39
他親族同居	1
計	92

認定調査受託

受託件数	保険者
9件	千葉市若葉区1件 美浜区1件 市原市4件 船橋市2件 品川区1件

研修等参加

月	日程・内容・参加人数
9月	29日 千葉県認定調査員研修 1名
11月	16日 ケアマネジャー現任研修Ⅱ（事例検討） 1名
12月	9日 在宅医療連携WEBカンファレンス ※Zoom 1名 12日 千葉県介護予防ケアマネジメントに係る研修 2名 主任介護支援専門員更新研修 1名
2月	1日 あんしんケアセンター浜野意向調査 ※Zoom 3名 主任介護支援専門員更新研修 1名
3月	3日 あんしんケアセンター浜野主催サロン ※Zoom 2名 2日 在宅継続セミナー（やさしい手主催） ※Zoom 1名 13日 令和2年度千葉県介護認定調査員委託先現任研修 2名 ※動画視聴 17日 居宅介護支援専門員現任研修 ※Zoom 2名 31日 高齢者虐待防止研修（あんしんケアセンター浜野圏域）3名 ※Zoom 主任介護支援専門員更新研修 1名

7-5. 淑徳おゆみ診療所

実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ患者数	578	450	609	596	556	571	1073	652	755	496	507	834	7,677
うち入居者関連	55	66	64	71	97	124	66	67	69	54	89	59	881
うち健診（外来含）	97	2	99	45	34	40	536	128	217	48	4	20	1,270

7-6. 千葉市あんしんケアセンター松ケ丘

年度当初は緊急事態宣言が発令されていたため、ほとんどの活動を自粛せざるを得なかった。感染経路と予防策がわかってきた段階で、再開できるものについては、十分な検討や地域の方との協議のうえで再開した。

集合しての活動は困難だったため、各種チラシの配布やオンラインの活用などできる範囲での活動を行った。基本的にはあんしんケアセンターの活動が止まらないように、各自が感染対策を行い、相談窓口としての機能の継続に努めた。具体的には下記のとおり実施した。

1 地域包括ケアシステムの構築

(1) 生活支援・介護予防サービスの基盤整備の促進

生活支援コーディネーターと連携し、『セルフケア・閉じこもり予防』の注意点を載せた『地域ともいき通信臨時号』を作成し、高齢化率の高い自治会を中心にポスティングを実施した。宣言解除後は積極的に地域の通いの場に出向き、コロナ禍における高齢者の日常生活実態把握調査と活動支援を実施した。若草地区で新たにラジオ体操の会の立ち上げを支援し、現在も定期に開催されている。あんしん参加の白旗2か所のラジオ体操は継続しており、見守りの機会としている。中央いきいきセンターと連携し、生きがい教室参加者に介護予防・生活支援サービスの情報提供を行った。

(2) 在宅医療・介護連携の推進

圏域多職種連携会議の開催に向けて関係機関と協議を続けてきたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大と緊急事態宣言の発令により開催を延期とした。また、居宅介護支援事業所への個別訪問等で医療と介護の連携について意見を伺う計画であったが、同様に実施できなかった。

(3) 認知症施策の推進

民生委員を対象に認知症サポーター養成講座を実施、認知症カフェへの参加、協力をを行うとともに、認知症コーディネーター・認知症地域推進委員の活動としてみかんの会（認知症サポーター養成講座、チームオレンジ）に参加した。

2 第1号介護予防支援事業

新型コロナウイルス感染症の影響により年間を通じて面接も増減したが、感染予防対策に努めながら利用者のADL状況の把握を行い、ADL低下防止及び閉じこもり予防等自己の生活課題に気を付けて生活できるよう支援を行った。

3 総合相談支援

多様な相談に対して三職種がそれぞれ専門的な視点を持ち、協力しチームで対応した。コロナ禍において講座等の開催、周知活動は十分にはできなかったが、介護予防活動の中であんしんケアセンターのチラシや感染対策等のチラシの配布を行った。

4 権利擁護

介護予防教室や地域の集いの場に出向き、消費者被害、新型コロナウイルス感染症関連の詐欺予兆電話に対するパンフレットやチラシの配布等の注意喚起を行った。成年後見制度や高齢者虐待に関しては、総合相談支援から情報提供や関係機関と連携し、問題の解決を図った。

5 包括的・継続的ケアマネジメント支援

圏域内外の居宅介護支援事業所に介護支援専門員の在籍数や特定事業所加算の取得状況などの把握に努めた。

委託のプランについて、全ケースの点検と委託のルールの一統を図り、資格更新等の情報等も紙面で提供した。

6 地域ケア会議

感染予防を図りながら、定期的な地域ケア会議を開催、支援困難ケースについては、地域個別ケア会議を随時開催した。

7 一般介護予防事業

生活支援コーディネーターと連携し、いきいき活動手帳の活用や介護予防の啓発活動を行うことで、セルフケアマネジメントや介護予防の重要性を周知した。毎年実施している介護予防の健康講座は感染予防対策を徹底して実施した。

7-7. 千葉市生活支援コーディネーター

3年目を迎え、地域と顔のつながる関係を築きつつあるが、圏域が広範囲にわたるため、いまだにつながりのうすい地域もある。積極的な訪問を心がけているが、他にも地域通信を配布するなど生活支援コーディネーターの目的や役割、地域づくりの重要性について周知を図ってきた。また、コロナ禍の影響で地域活動がほとんど休止の状況となり、高齢者のひきこもりやフレイルが懸念されたが、その解消のため、夏頃より感染予防対策を講じながら活動を開始する団体も出始める。改めて、通いの場が地域交流の大事な場になっていることを痛感した年であった。

主な活動

1 地域のニーズに応じた重点的業務

(1) 生活支援・介護予防サービスの提供状況の把握

7月から12月にかけて地域資源調査を実施、その情報は「千葉市の生活支援サイト」に掲載されている。また、住民への情報がWebに限定されることを避けるため、「シニアリーダー体操教室マップ」や「地域ともいき通信」を作成するなど、紙媒体での情報提供も心掛ける。

(2) 生活支援・介護予防サービスの創出

コロナ禍でもできる活動として「脳トレサロン」開設の相談を受け、他サロンの見学調整や活動内容について助言を行い、星久喜公民館で3月より活動を開始している。他にもヘルスサポーター養成講座開催に向けて連携を図った蘇我地区の団体が新しくラジオ体操を始める。

(3) 支援ニーズの把握

7月から9月にかけて通いの場29カ所の参加者を対象に「コロナ禍における日常生活調査」を実施、地域の高齢者の状態を把握し、集計結果を地域通信に掲載する。

(4) 担い手の養成

今年度から開校した「ちばし地域づくり大学校」の一部を生活支援コーディネー

ターが担当、講座内容や資料作成に携わり、講座開催日(全6回)もアシストで参加する。

2 ネットワークの構築（市や社協、あんしんケアセンター関係機関・団体との連携）

行政や関係機関との連携をはじめ、今年度は生涯現役応援センターや障害者基幹相談支援センターを訪問し、新たなネットワークを構築する。

3 協議体設置に向けた取組み

地域運営委員会や社協地区部会の会議に参加し、地域の活動状況やその内容について情報を共有する。

